

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	45
施設名	葛飾区新高砂保育園
施設所在地	葛飾区高砂4-1-49
法人名	葛飾区

1. 活動のテーマ

<テーマ>

運動遊び（様々な動きを経験する中での挑戦）

<テーマの設定理由>

これまで新高砂保育園では、体操、コオディネーショントレーニングの動き、ランニングを毎日継続して行っている。年長児が小さいクラスのお手本になって、交流しながら大いに楽しんでいる姿がある。また、職員の担当として運動遊びPTがあり、様々な運動の機会を「チャレンジデーズ」として定期的に取り入れている。様々な運動の機会を得て経験していく中で、子ども達が自らやってみたい、動いてみたいと思う気持ちにつながれたらと願ってこのテーマにした。

2. 活動スケジュール

- ・毎朝の体操（月ごとに行う体操を決めて行う）
コオディネーション、ランニング
- ・リトミック
幼児クラスのうち、クラスまたは縦割りグループ
最後の会には2歳児クラスも参加する
- ・チャレンジデーズ
全クラスでクラスごとに2日間ずつ行う
6月、7月、10月、2月（園庭、プレイルーム、ホール）
- ・コオディネーショントレーニング
講師をお呼びして年2回行う
幼児クラスでの縦割りグループで行う
- ・ボール、縄跳び（幼児）、乗用玩具、三輪車

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・園庭に巧技台やコンテナ、板などを整備、セッティングして使用
- ・ボールを用意して、ボール投げや蹴ってあそんでのサッカーごっこ
- ・大縄、短縄を人数分用意し、子どもたち自身がやりたい時に出来るようにする
- ・ホールやプレイルームでは、広い環境の中でのリトミック、コオディネーショントレーニング
- ・巧技台、マット、一本橋のチャレンジデーズの環境整備

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・毎日の体操や運動ランニング、年間4回のチャレンジデーズ、年長さくら組の縄跳びへの取り組み、ドッジボールなどのボール遊びなど、子ども自身で自分の体をのびのびと動かして、活動した。
 - ・リトミックは幼児クラスの縦割り活動で行う。後半は2歳児クラスも参加した。
 - ・コオディネーショントレーニングは、動きは日々のルーティン活動として継続しつつ、幼児を対象に、講師をお呼びして体験した。その体験を通して活動を学んだ運動遊びPTの保育士がさらにトレーニングを行うことで体験を重ねていった。
- チャレンジデーズの屋内では、折り畳みのできる一本橋を楽しんだ。安全に楽しむことができ、バランスを取りながら楽しめた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

朝の体操から体を動かす楽しさを味わっているのが、チャレンジデーズでの屋内の一本橋や園庭のコンテナや板で構成した昇降も喜んでチャレンジしている。興味がわいてやってみようという気持ちが育ち、乳児クラスは、乗用玩具や三輪車に乗って漕げるようになる姿がみられた。また、幼児クラスの特に年長児は、縄跳びを始めて、なかなか飛べなかった子が練習をして飛べるようになり、できるようになった喜びを感じていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

体を動かすことで、また日々継続することで、たくさんのできたがみられた。体を動かすことは、身体の成長につながると感じられたが、気持ちもすっきりとして、笑顔がたくさん見られて、心や気持ちにも良い影響があると感じられた。